

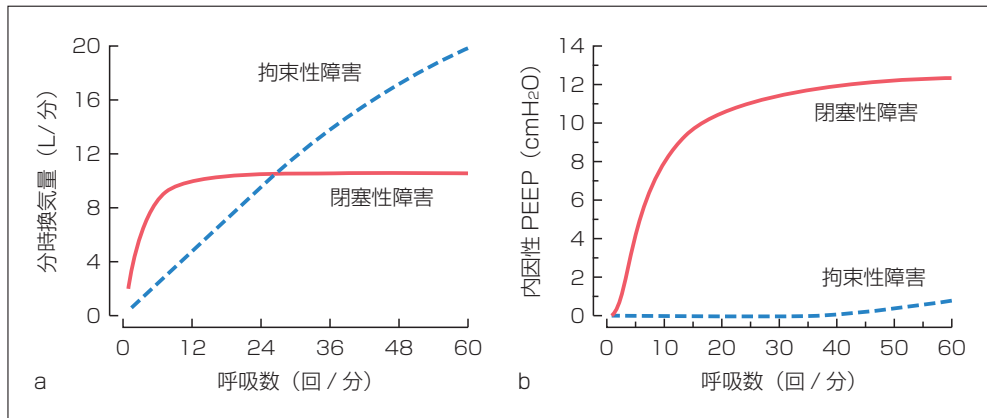


図 4 分時換気量と内因性 PEEP

- a: 呼吸数と分時換気量の関係, — は重症閉塞性障害, - - - は重症拘束性障害. 閉塞性障害では呼吸数が増加しても分時換気量はすぐに頭打ちになってしまうが, 拘束性障害では呼吸数と分時換気量はほぼ比例する.
- b: 呼吸数と内因性 PEEP の関係, — は重症閉塞性障害, - - - は重症拘束性障害. 閉塞性障害では呼吸数の増加とともに内因性 PEEP が上昇, 拘束性障害では呼吸数の増加に伴う内因性 PEEP はほとんど発生しない. いずれも数学的モデル肺によるシミュレーション.

(Marini JJ, et al. Am Rev Respir Dis 1993; 147: 14-24¹¹⁾より)